

# 女性町村議員現況調査結果 [概要版]

## 目的

- ・ 本会の国に対する要望や女性議員増加に向けた取組の基礎資料とするため、「女性町村議員現況調査」（調査時点：令和7年4月1日）を実施。
- ・ 全女性町村議員（調査時点1,500人）を対象に、議員個人の属性等についてアンケート形式（無記名）で尋ねた、本会初めての調査。（回答者：1,406人／回答率：93.7%）

## 年齢・配偶者編

【注】割合（%）は、回答者1,406人に対する割合であり、小数点2位を四捨五入。※印＝複数回答可。「子」は、回答者と同居している、一親等の関係にある子。

【年齢】 25～39歳…4.1% / 40～49歳…12.4% / 50～59歳…20.8% / 60～69歳…35.8% / 70歳以上…27.0%

【配偶者】 配偶者がいる…72.3% / 配偶者がいない…27.7%

## 生活・家庭編

【議員報酬以外の収入】\* 特になし…25.3% / 公的年金を受給している…40.3% / 自営業による収入がある…25.3% / 企業・団体等の職を通じた収入がある…13.7% / 他

【議員報酬以外の年間収入額】 100万円未満…44.2% / 100万円以上300万円未満…31.8% / 300万円以上500万円未満…12.5% / 他

【未就学児の子】\* 幼稚園または保育園等に通う子がいる…5.5% / 幼稚園または保育園等に通わない（通えない）子がいる…1.4%

【小中学生の子】\* 低学年（1・2年生）の子がいる…3.7% / 中学年（3・4年生）の子がいる…5.7% / 高学年（5・6年生）の子がいる…5.2% / 中学生の子がいる…7.2% / 他

【介護】 介護を必要とする親族がいる…35.3% / 他

## 動機・やりがい編

### 【現町村に居住している経緯・きっかけ】

第1位「配偶者や親族の都合に合わせて、当該町村に移住」…35.3% / 第2位「地元町村であり、ずっと住んでいる」…28.7%

第3位「地元町村であり、一度転出したが、再び住み始めた」…20.7% / 他

### 【議員になった最大の動機】\*

第1位「自分の町・村の発展に貢献したかった」…63.2% / 第2位「女性議員が増えるべきだと考えた」…42.9% / 第3位「実現したい政策があった」…31.8% / 他

### 【議員のやりがい・達成感】\*

第1位「住民や支援者から感謝やねぎらいの言葉をかけられた」…66.4% / 第2位「町政・村政の仕組みを理解するとともに、議会の役割の重大性を改めて認識した」…65.1%

第3位「自身の政策を実現できた（条例提案、議案修正、一般質問等を通じて）」…65.0% / 他

### 【今後も議員又は政治家を続けていこうと思うか】

第1位「同じ町村で議員を続けるつもりである」…50.1% / 第2位「分からない」…19.6%

第3位「同じ町村で議員を続けたかったが、個人的な事情（年齢、病気、転居等）により、次回の選挙に立候補しない予定である」…9.5% / 他

## 課題・対策編

### 【議員を目指してから又は議員になってから直面した、困難や問題点】\*

第1位「女性議員が少ないこと」…47.7% / 第2位「初当選後、議会・行政に関する知識不足から生じる様々な困難」…43.9%

第3位「議員報酬だけでは生活が苦しいこと」…36.0% / 他

### 【女性町村議員が増えるため特に必要だと考えること】\*

第1位「住民が議会・議員と親しむ機会（議会報告会、議員懇談会、議会モニター等）の充実」…46.6%

第2位「低額な議員報酬の改善（生活給として足りるだけの水準）」…45.7% / 第3位「地域社会（地縁団体、企業、PTA、同業者団体等）で女性が活躍する風土」…44.8% / 他